



2018年3月期 第2四半期決算説明会

2017年11月21日

代表取締役社長

實吉 政知

	ページ
2018年3月期 第2四半期決算	…… 2-16
当社の経営戦略	……17-29
<ご参考>	……30-31



2018年3月期 第2四半期決算

● 決算サマリー

(単位：百万円)

	2017/3期 2Q累計		2018/3期 2Q累計		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	3,765	100.0	3,414	100.0	△ 9.3
営業利益	335	8.9	411	12.1	+ 22.8
経常利益	335	8.9	409	12.0	+ 22.2
当期純利益	△ 233	-6.2	388	11.4	-----
1株当り純利益(円)	△ 27.1	-----	45.1	-----	-----
1株当り純資産(円)	1,333	-----	1,415	-----	+ 6.2

● 決算のポイント・トピックス

- ▶ 採血管準備装置の更新需要が伸び悩み
⇒ 大病院で慎重な動きが継続
- ▶ 消耗品等は安定的に推移
⇒ 装置の累計販売台数増加に伴い好調
- ▶ 海外では小型機の採血管準備装置の販売は堅調
- ▶ 研究開発費は前期から反動減
- ▶ トピックス
 - ⇒ 期初にBC・ROBO-8001RFIDの販売を開始
 - ⇒ RFID検体情報統括管理システム”TRIPS“が第19回自動認識システム大賞で「優秀賞」を受賞

*RFID (Radio Frequency IDentification)
… ICタグの個別情報を無線通信によって読み書きするシステム

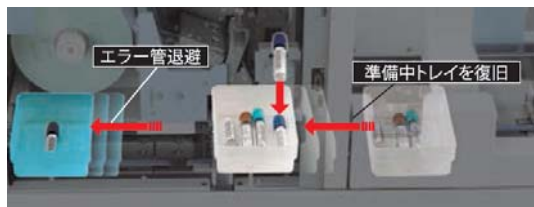
● 新製品 BC・ROBO-8001 **RFID** の上市

4
つ
の
新
機
能



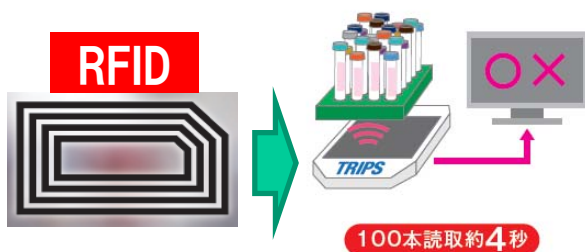
IoTサポート

⇒ 自動起動機能 等



自動復旧

⇒ 発行動作の停止を回避



RFID連携強化

⇒ 検体トレーサビリティの強化



自動学習

⇒ メンテナンス時期のアラート 等

自動採血管準備装置
**BC・ROBO
8001**
RFID

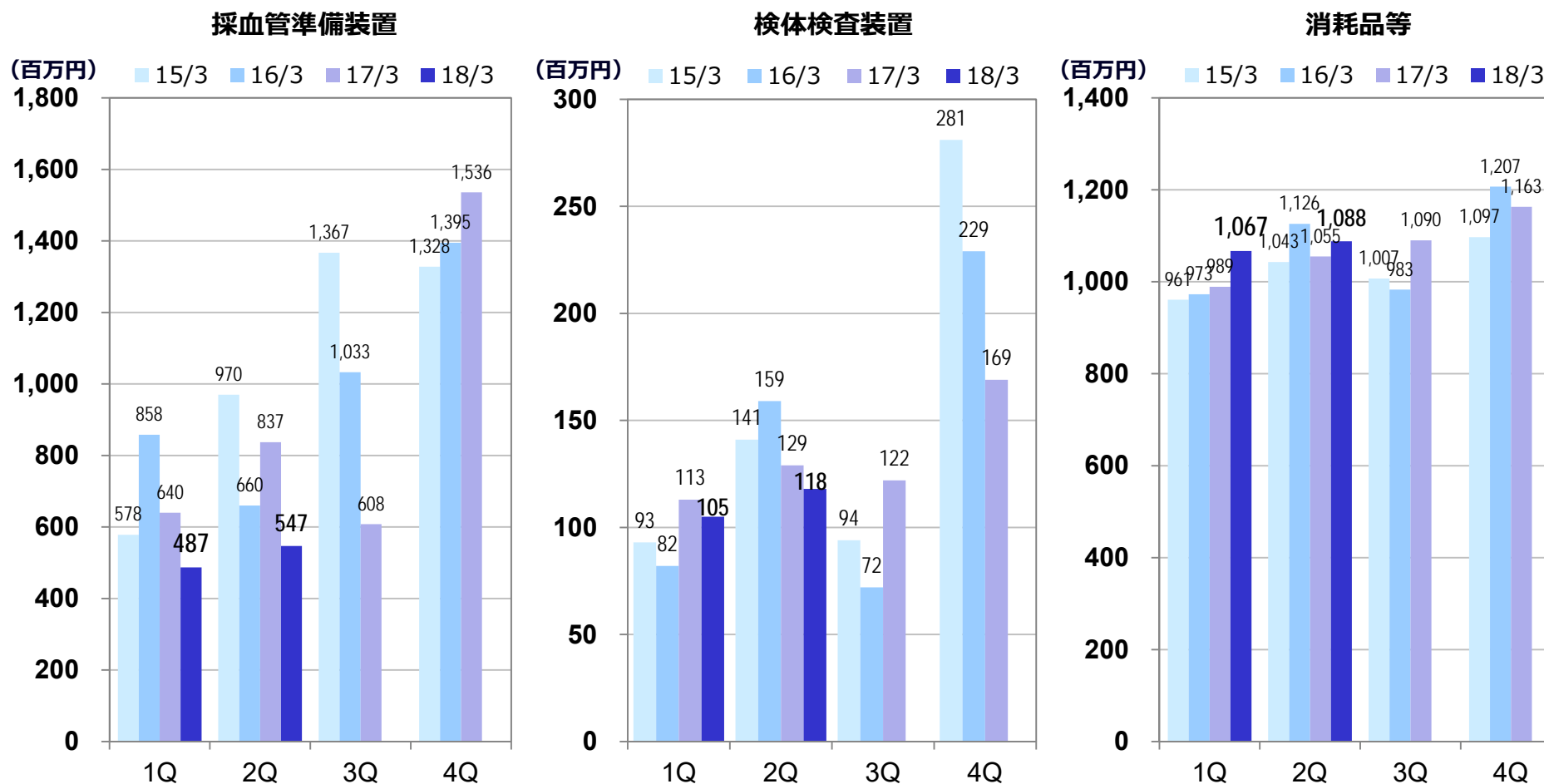


● 品目別売上高(全体)

(単位:百万円)

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2017/3期 2Q累計	2018/3期	
					2Q累計	前年同期比 (%)
採血管準備装置	4,243	3,948	3,622	1,477	1,034	△ 30.0
構成比 (%)	46.4	43.7	42.8	39.2	30.3	----
検体検査装置	610	544	534	242	224	△ 7.6
構成比 (%)	6.7	6.0	6.3	6.4	6.6	----
消耗品等	4,110	4,290	4,299	2,044	2,155	+ 5.4
構成比 (%)	45.0	47.5	50.8	54.3	63.1	----
その他	179	249	0	0	0	----
構成比 (%)	2.0	2.8	0.0	0.0	0.0	----
合計	9,145	9,032	8,457	3,765	3,414	△ 9.3

● 品目別売上高(四半期別)

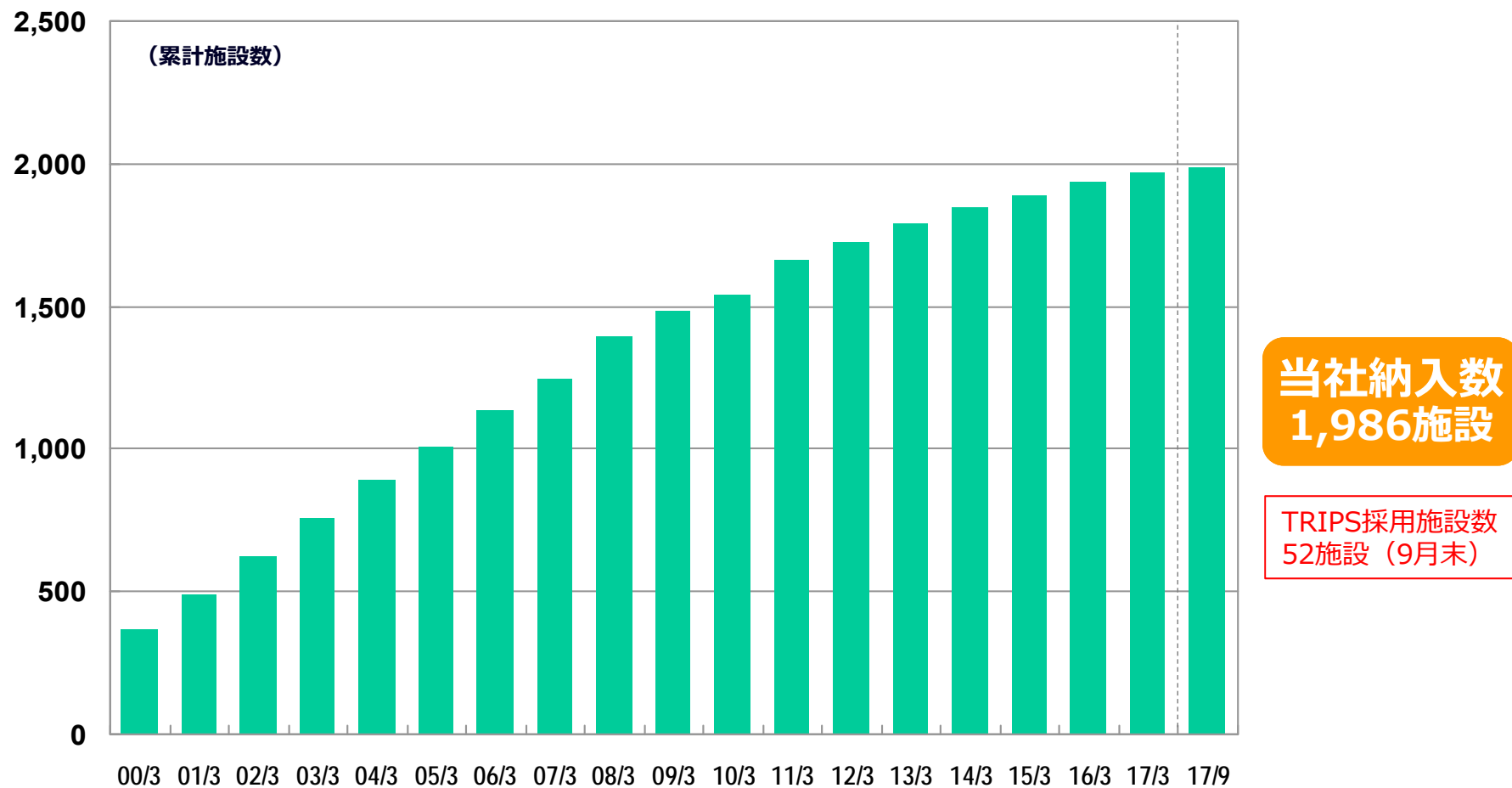


● 採血管準備装置-BC・ROBO納入施設数

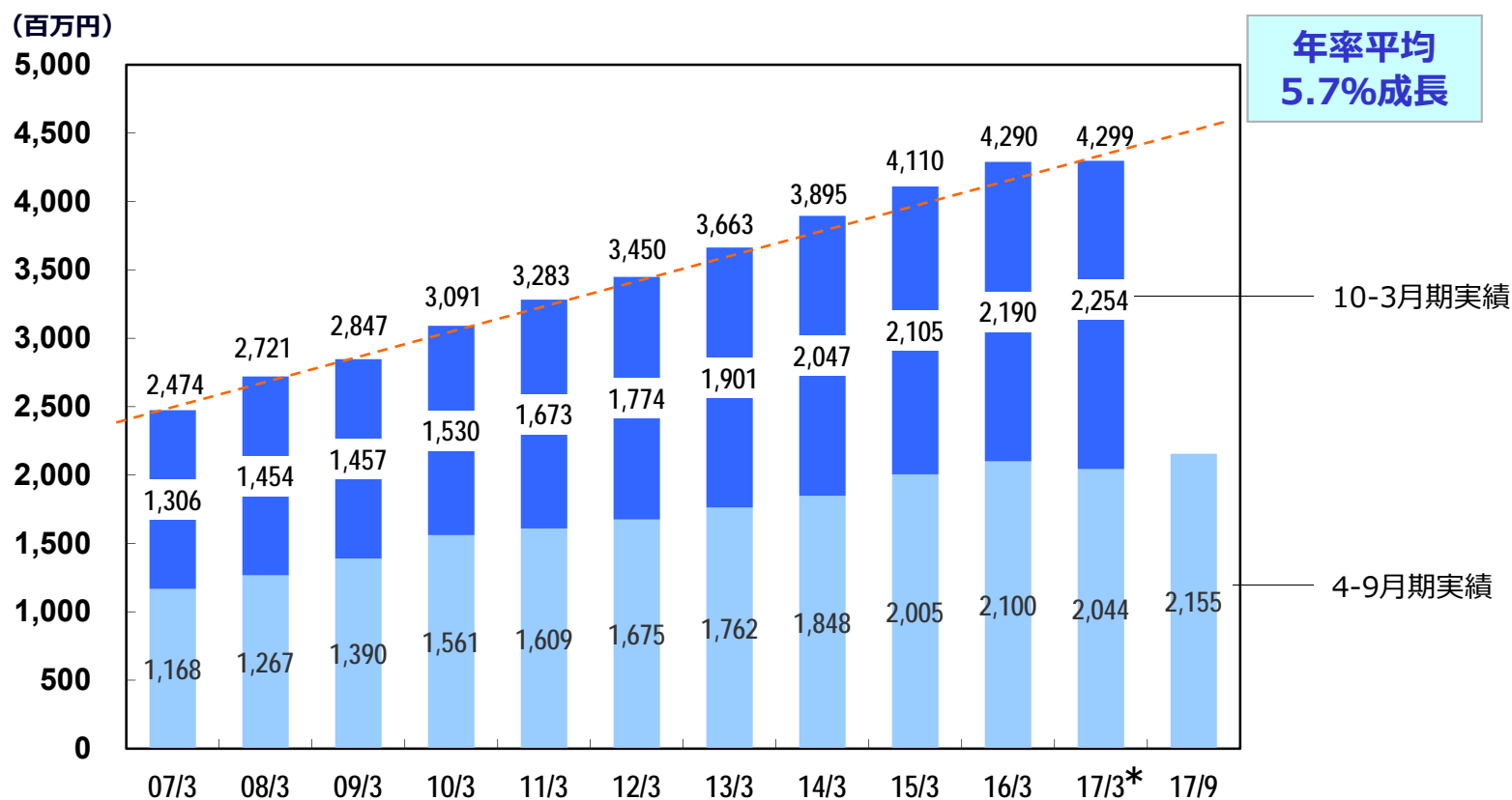
	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期 2Q累計
納入施設数	262	262	275	87
国内	197	203	177	64
内、新規	46	48	32	15
内、更新	151	155	145	49
輸出	65	59	98	23

- ・国内：高付加価値化製品の販売に注力も、更新案件数は減少
- ・輸出：東アジア地域を中心としたアジア市場の販売が堅調であるが、一部下期へ期ズレ

● 採血管準備装置－国内納入施設の推移

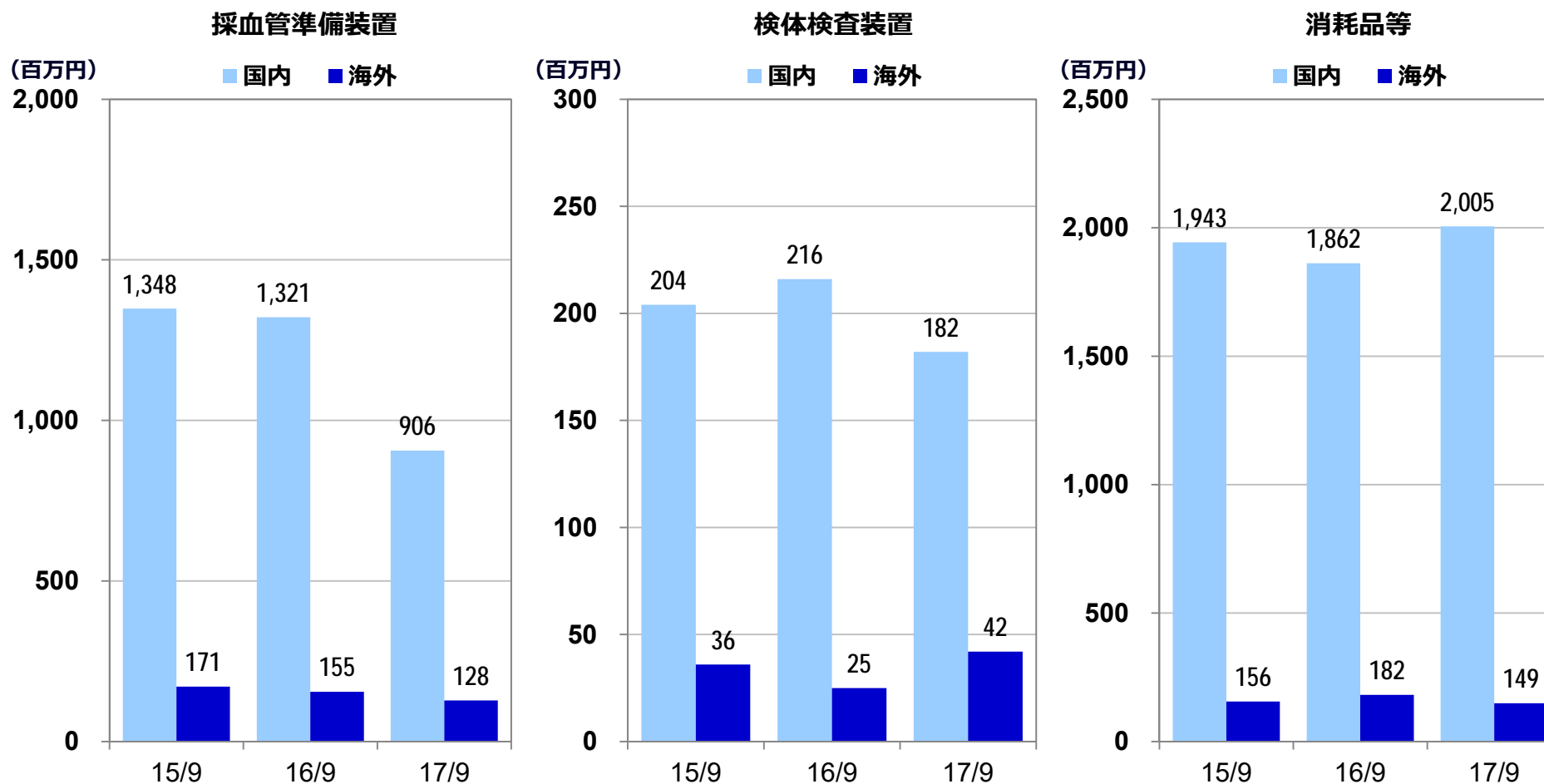


● 消耗品等(含む保守料)の売上高推移

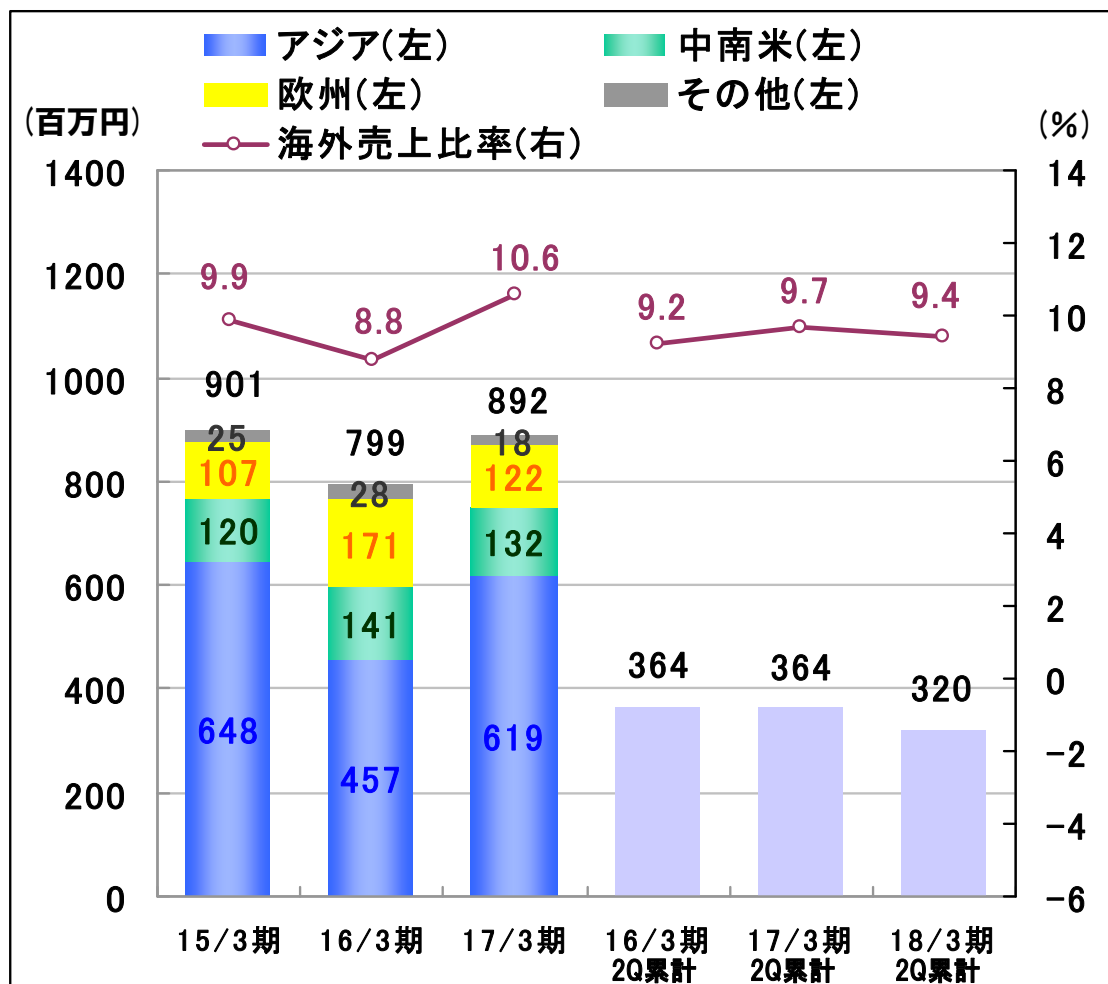


* 17/3期より保守料の計上方法を変更

● 品目別売上高(国内・海外別)



● 海外売上高



[2018/3期 2Q累計]

採血管準備装置
…一部で下期へ期ズレ発生

消耗品
…一部地域の昨年上期は
下期からの前倒しがあった

2018年3月期 第2四半期決算-11

● 要約損益計算書

(単位:百万円、%)

	2017/3期 2Q累計		2018/3期 2Q累計			2017/3期	
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比
売上高	3,765	100.0	3,414	100.0	△ 9.3	8,457	100.0
売上原価	2,013	53.5	1,812	53.1	△ 10.0	4,337	51.3
売上総利益	1,752	46.5	1,601	46.9	△ 8.6	4,119	48.7
販売管理費	1,416	37.6	1,190	34.9	△ 16.0	2,701	31.9
営業利益	335	8.9	411	12.0	+ 22.8	1,418	16.8
営業外損益	△ 0	△ 0.0	△ 2	△ 0.1	-	△ 22	-
経常利益	335	8.9	409	12.0	+ 22.2	1,396	16.5
特別損益	△ 658	-	19	-	-	△ 788	-
法人税、調整額等	△ 89	△ 2.4	40	1.2	-	149	1.8
四半期(当期)純利益	△ 233	△ 6.2	388	11.4	-	458	5.4

【営業利益の増加】 前期に新製品開発のために費用投入した一方で、今期は費用発生が一部3Q以降に期ズレ

【特別損益好転】 前期の決算修正に係る費用計上からの反動減と、過年度決算修正に伴う税金還付

● 要約貸借対照表【資産の部】

(単位:百万円、%)

	2017/3期末		2018/3期 2Q末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
流動資産	12,609	89.3	12,356	89.0	△ 253
現預金	8,238		8,823		+ 585
売上債権	2,714		1,942		△ 772
棚卸資産	1,483		1,422		△ 61
その他流動資産	173		168		△ 5
固定資産	1,505	10.7	1,520	11.0	+ 15
有形固定	1,264		1,246		△ 18
無形固定	23		23		+ 0
投資等	218		250		+ 32
資産合計	14,115	100.0	13,877	100.0	△ 238

● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

(単位:百万円、%)

	2017/3期末		2018/3期 2Q末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
流動負債	1,599	11.3	1,351	9.7	△ 248
買入債務	705		743		+ 38
短期有利子負債	—		—		—
その他流動負債	894		608		△ 286
固定負債	347	2.5	338	2.4	△ 9
長期借入金	—		—		—
その他固定負債	347		338		△ 9
負債合計	1,946	13.8	1,690	12.2	△ 256
純資産合計	12,168	86.2	12,186	87.8	+ 18
負債・純資産合計	14,115	100.0	13,877	100.0	△ 238

● 要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2017/3期 2Q累計	2018/3期 2Q累計	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	129	1,005	+ 876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	△ 101	△ 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 370	△ 369	+ 1
現金・現金同等物の増加額	△ 333	534	+ 867
現金・現金同等物の期首残高	5,991	6,150	+ 159
現金・現金同等物の期末残高	5,658	6,685	+ 1,027
研究開発費	384	168	△ 216
設備投資実施額	30	11	△ 19
減価償却実施額	33	34	+ 1



当社の経営戦略

● 2018年3月期 業績見通し

(単位:百万円、%)

	2017/3期		2018/3期 (修正予想)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,457	100.0	8,500	100.0	+ 0.5
営業利益	1,418	16.8	1,300	15.3	△ 8.4
経常利益	1,396	16.5	1,300	15.3	△ 6.9
当期純利益	458	5.4	1,000	11.8	+ 118.3
1株当り純利益(円)	53.2	—	116.2	—	—
1株当り配当金(円)	43.0	—	43.0	—	—
研究開発費	657	7.8	550	6.5	△ 16.3

期初予想から利益を増額修正(営業利益で150百万円の増額)
引き続き製品構成に関しては保守的に見積ったほか、人件費等の増加を想定

● 2018年3月期 品目別売上高見通し

(単位:百万円、%)

	2017/3期		2018/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,457	100.0	8,500	100.0	+ 0.5
採血管準備装置	3,622	42.8	3,550	41.8	△ 2.0
検体検査装置	534	6.3	450	5.3	△ 15.7
消耗品等	4,299	50.8	4,500	52.9	+ 4.7

● 当社の基本戦略

▶ 中期的な経営環境

医療費抑制策は継続、予防医療・医療安全及び業務効率化への動き拡大

・RFID*の利用による検体情報の統括管理ニーズの喚起

（外来/病棟の採血～検体管理、尿検体管理など）

⇒ **オンリーワン製品の投入**で医療現場における活用領域拡大を目指す

・健診施設、クリニック等製品 小型採血管準備装置<BC・ROBO6>の展開

● 当社の主な取組み

➤ 採血管準備装置

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉
中病院 ⇒ 新規開拓の加速
健診センター ⇒ 販路拡大

粗利率を維持しつつ
新たな市場の開拓を目指す

➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院への販路拡大に取り組む

➤ 輸出

各国の経済情勢は不安定が継続も、引き続きキメ細かく案件捕捉

➤ オンリーワン製品

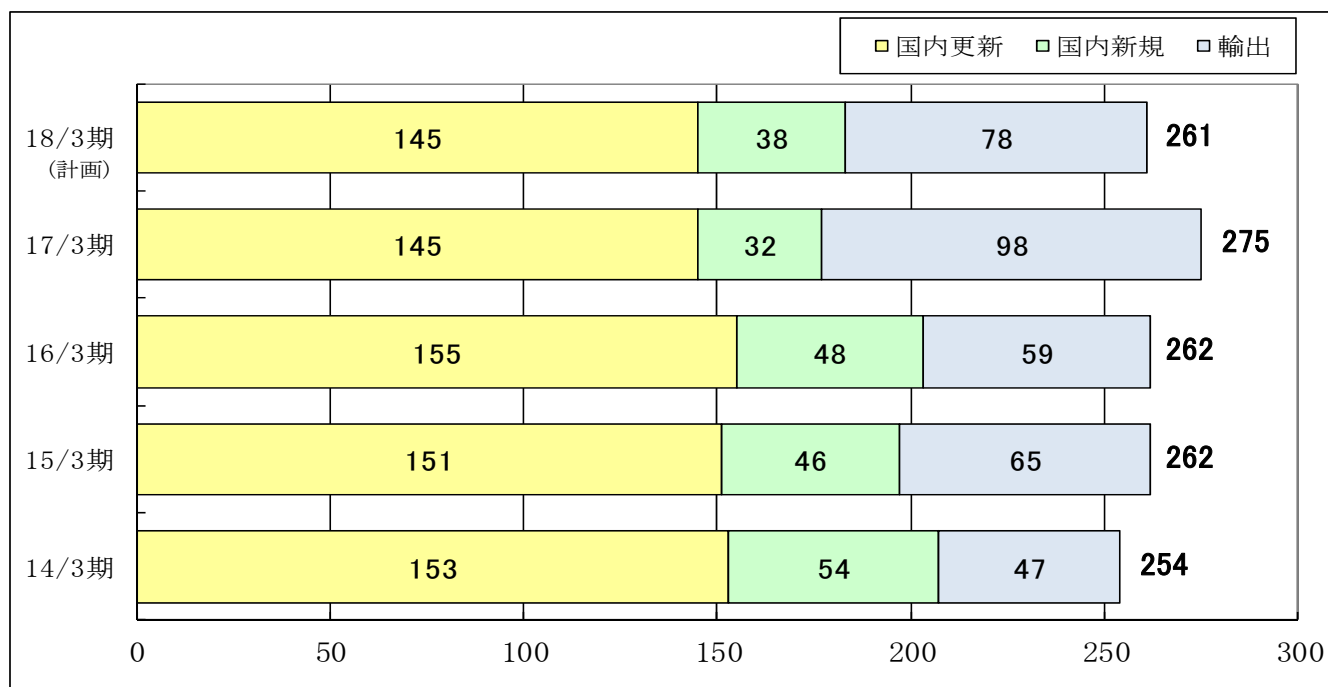
- ・新型採血管準備装置BC・ROBO-8001RFIDと当装置から展開する検体情報統括管理システムに注力
- ・RFID尿検体管理システム(u-TRIPS)の拡販
- ・RFID輸血患者情報管理・照合システム(TRIPS-Bt)の拡販
- ・静脈可視化装置の利用拡大(麻酔科・小児科、救急救命、インプラント等)
- ・生活習慣病の予防ニーズを捉えたヘルスケア関連製品提案

● 下期の課題 1/5

➤ 採血管準備装置

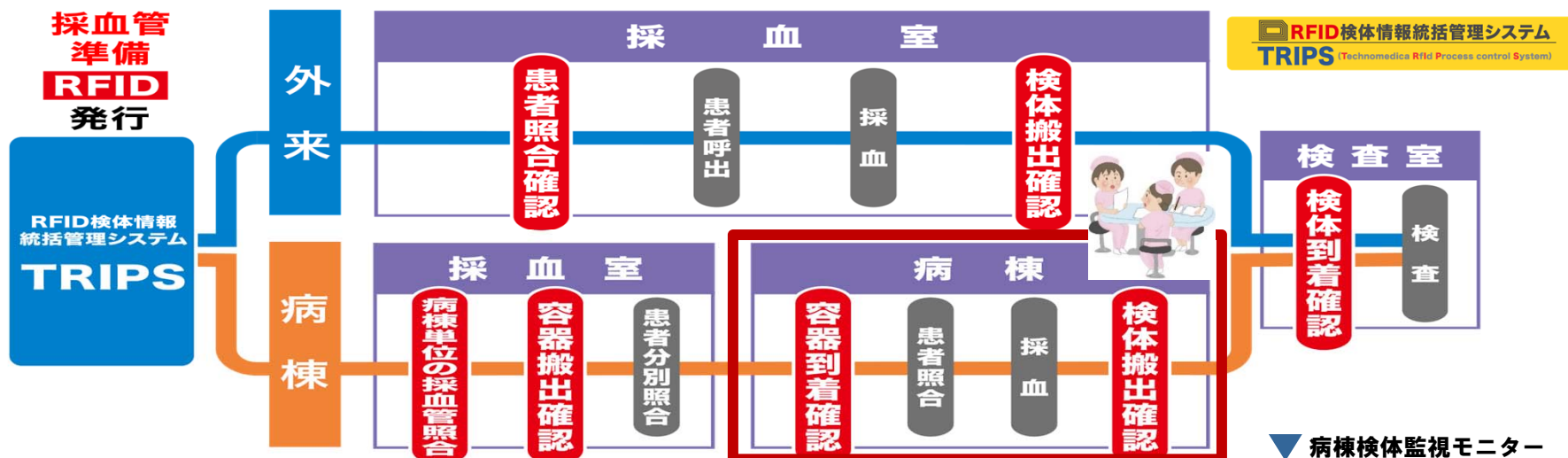
- ◆ 引続き大病院向けを中心に更新需要の着実な捕捉
- ◆ 高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市

ROBO納入施設数



● 下期の課題 2/5

➤ 新製品、システム開発による **RFID** の病棟への導入



RFID検体搬送カート

RFIDプリンタ



● 下期の課題 3/5

➤ 新市場を作る製品の販売強化

RFID

- ◆ BC・ROBO-8001 RFID (採血管準備装置)
- ◆ UA・ROBO-2000 RFID (全自動尿分取装置)
- ◆ u-TRIPS (RFID尿検体管理システム)
- ◆ TRIPS-Bt (RFID輸血患者情報管理・照合システム)



BC・ROBO-8001 RFID



UA・ROBO-2000 RFID

新規販路開拓、販売機会の拡大

- ◆ BC・ROBO-6 … 健診施設、クリニック等
- ◆ 非接触型静脈可視化装置「StatVein」
… 小児科・麻酔科等
- ◆ 酸化ストレスマーカー … 大学の研究室等
- ◆ ヘルスケア製品



「StatVein」

● 下期の課題 4/5

➤ 検体検査装置

◆ 新製品「GASTAT-700モデル」の販売本格化

(2017年3月発売、次ページ参照)

◆ 電解質測定装置 (STAX-5 Inspire、STAX-6) の販売強化

◆ 電解質測定装置の量産製造継続

STAX-5 Inspire



➤ 輸出

◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化

- ・アジア、欧州、中南米で新市場の開拓
- ・増員による販売体制の強化

● 下期の課題 5/5

➤ GASTAT-700モデルの販売拡大



血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル

★安心見守り機能

装置状態をIoT技術により、弊社コールセンターで監視（リモートメンテナンス機能の強化）

⇒ 未然にトラブル発生を察知、防止して常時測定可能状態を維持

★簡単操作

測定、メンテナンスのあらゆる操作に、直観的に把握、実施できるガイダンスを表示

★電極の長寿命化

グルコース、ラクテート電極寿命が業界最長の3ヶ月を実現

⇒ ランニングコストを大幅削減

※ テクノメディカは、血液ガス分析装置の国内唯一のメーカーです。

オンリーワン製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



中期経営計画 基本方針

【国内事業】信頼性及び品質の向上と開発技術の創造

- ⇒ 採血管準備装置の更新需要の確実な捕捉
- ⇒ 医療現場におけるRFID活用領域の拡大

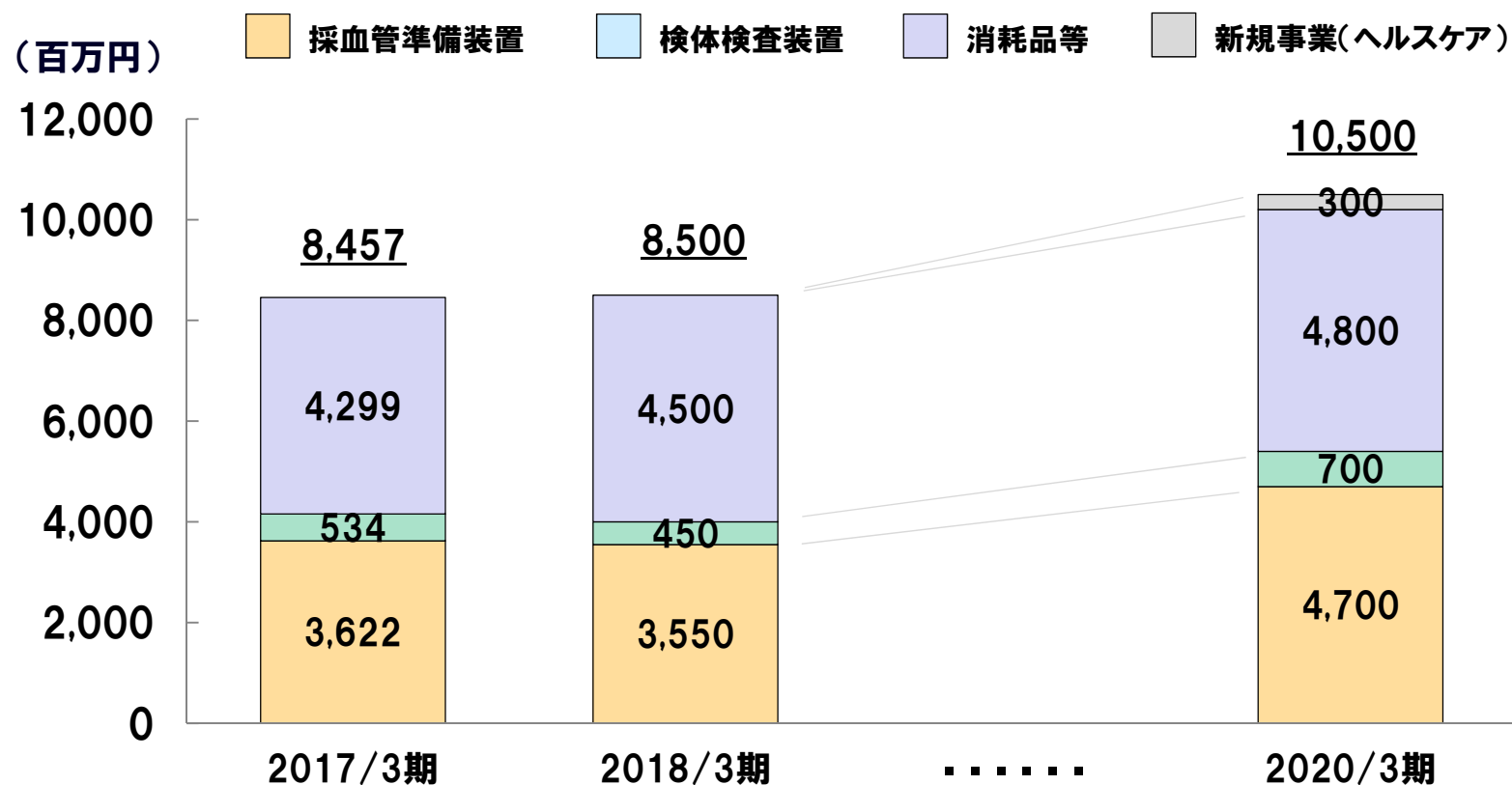
売上増収を目指す

【海外事業】ニッチマーケットに特化し、当社の技術力を生かした製品の拡販を目指す

【新収益源】開発技術の向上により、ヘルスケア分野で存在感のある企業を目指す

- ⇒ 採血管準備装置、血液ガス分析に続く第3の柱を確立し、ニッチマーケットで安定的な成長を実現
- ⇒ キーワード … 在宅医療、予防医学、先制医療、POCTなど

中期経営計画 売上目標



● “TRIPS”の第19回自動認識システム大賞「優秀賞」受賞について

自動認識システム大賞とは

- ・自動認識技術やシステムの発展と普及・啓発を目的として、**先進的かつその効果が極めて顕著な**自動認識関連の技術やシステムを一般社団法人日本自動認識システム協会が表彰

今回、大賞に次ぐ優秀賞を富士通フロンテック(株)と共同で受賞

【TRIPSの特長】

- ◆ 検体容器の一括読取(最大100本まで)を実現 ⇒ **作業時間の大幅短縮**
- ◆ 読取は専用のリーダーに置くだけの簡単操作 ⇒ **医療従事者の負担を大幅軽減**
- ◆ 検体の個品管理によるトレーサビリティの厳格化 ⇒ **医療事故防止に貢献**

※その他の情報については、<http://www.jaisa.jp/pdfs/170929/a02.pdf>、
<http://www.technomedica.co.jp/t01/ars20170731b.pdf> を参照

RFID活用に関する今後の展望

【実現済み】 ①尿検体(採尿カップ)の提出確認、②輸血の際の3点照合(RFIDタグ付き輸液パック、リストバンド、医療従事者のIDカードの読取確認)等

【実現に向けて検討】 ①病理検査分野等への拡張、②臨床検査機器内でのRFID活用法、③臨床検査センターでのRFID導入提案等

● 品目別の主要製品について

		製品名				
採血管準備装置 (検体前処理装置)	 <p>採血管準備装置 BC・ROBO-8001RFID</p>	 <p>卓上型 採血管準備装置 BC・ROBO6</p>	 <p>RFID検体情報 統括管理システム TRIPS アンテナ ボックス 採血管 スタンド</p>	 <p>全自動尿分取装置 UA・ROBO-2000RFID</p>		
	検体検査装置	 <p>血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル</p>	 <p>ハンディ型血液ガス分析器 GASTAT-navi</p>	 <p>電解質測定器 STAX-5 Inspire</p>	<p><その他> 赤血球沈降速度測定装置 尿中酸化ストレスマーカー測定システム 等</p>	
消耗品等	 <p>各種採血管</p>	 <p>ラベル</p>	 <p>センサーカード</p>	 <p>電極</p>	 <p>ハレンカップ</p>	<p><その他> 採血管準備装置および 検体検査装置の保守 等</p>

<注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。